

▼ **関東** の活動だより

**ゴルフ同好会再始動**

大友 和男(TX)

新型コロナウイルス感染が広まってから、緊急事態宣言等も発出されたこともあり、関東民放クラブゴルフ同好会は活動を休止せざるを得なかった。

しかし、1波、2波...5波でようやく終息の兆しが見え始めた。緊急事態宣言等も解除された10月、ゴルフ同好会を再開することにした。

10月15日(金)、当日は無風快晴の絶好のゴルフ日和となった。東京23区内にある唯一18ホール完備のゴルフ場「若洲ゴルフリンクス」。女性2名を含む14名のプレーヤーが集合した。

参加者面々、自粛期間中に秘かに練習をしていたと見え半数以上がグロス100切。プレーヤーの中にはエージシユートを狙う80才台の強者もあり、相当レベルアップしたようだ。

今回はマスク着用でのプレーだったが、次回からはマスク無しで集まれることを期待したい。



写真の会

吉田 正剛(KHB)

10月18日、約1年ぶりに写真の会例会が早稲田フェニックス・ラウンジで開催された。

当日は欠席者も多数いたが8名の元気な顔が集まった。何しろ今年初めての開催なので、前年度の決算報告や次年度の予算等の審議もなされた。

一昨年春から新型コロナウイルスによる感染者増加で「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」のくり返りで、例会は何度も休止せざるを得ない状況の連続であった。

(広告)

**豪華絢爛!日本建築を代表する国宝を見学!** 商品番号 3166-17118

**迎賓館赤坂離宮本館ガイド付見学& ホテルニューオータニ「ガンシップ」洋食ランチ**

お食事後には、ホテルニューオータニ自慢の日本庭園の散策もご堪能いただけます。

お一人様 旅行代金 (税込) **8,800円**

お食事+入場料+添乗員付

1月	16(日)・21(金)・22(土)・25(火)・30(日)
2月	5(土)・11(金・祝)・15(火)・27(日)
3月	4(金)・10(木)・19(土)・21(月・祝)

出発日

日帰り

東京ガーデンテラス紀尾井町(11:10集合)…ホテルニューオータニ「ガンシップ」にてお食事…迎賓館赤坂離宮本館ガイド付見学後、解散(15:30頃)

■最少催行人員:9名様 ■添乗員同行 ■食事:昼食付




迎賓館本館内のそれぞれの部屋の使用目的や特徴など豪華絢爛な館内をガイド付でご案内いたします!

気軽にお出かけ。学び体験!

**ポケカル** お問い合わせ・お申し込みは **ポケカルお客様センター**

9時から13時まで受付  
【土・日・祝、12/30~1/3休み】

**03-5652-7020**

FAXは24時間受付 ▶ **03-3662-6776**

詳しい旅行・イベント条件を説明したご案内を送付いたします。事前にご確認の上、お申込みください。 ※写真は全てイメージです。 ※天候及び道路状況、その他諸事情によりコース・航路・食事会場等が変更となる場合がございます。 ※「新型コロナウイルス感染拡大に対する弊社対応」についてはHPをご確認ください。 ※当社は、お客様から取得した個人情報を、ツアーの手配およびそれらサービスの受領に必要な範囲内で利用します。また、情報誌等の旅行情報をお届けするために利用する場合がございます。

【申込注意事項/キャンセル料/個人情報取扱などの各種お問い合わせ】  
旅行企画・実施:株式会社ポケットカルチャー 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町16-1 <https://www.poke.co.jp> 一般社団法人 日本旅行業協会  
東京都知事登録旅行業第2-7696号

それでも当会は「関東民放くらぶニュース」に毎月5名の作品を掲載し続けた。コロナ禍にあって外出し撮影する事は困難な状況にも関わらず各自工夫をこらして、過去に撮ったアーカイブの中から作品を探し出し、提出する会員が多く見られた。そして毎月掲載された写真が多くの読者の「癒し」になった事だろう、と自負している。

当日は「民放クラブ」新年号の特集「全国フォトコンテスト」の作品3枚を審査する日でもあった。12名の作品が並び、出席者が各自無記名で3枚の作品を選んだ。結果は当会報の特集に掲載されている通りである。

今年は毎月の例会、撮影会等がスムーズに開催されるように切に願っている。



「えーお煎にキヤラメル！」

ラムネに館パン」

知識 洋治(EX・KKB)

その昔、映画館では上映の合間に、こんな掛け声で売り歩いてきたそうだ。現代ではさしずめロビーで売っているポップコーンとコーラだろうか。私はこのポップコーンが大の苦手だ。バケツ大の容器をお盆に乗せ、座るや否やパリパリ・ポリポリ、臭いと音で映画どころではなくなってしまう。

コロナは映画とお茶の会も直撃、昨年は幾つかの作品が延期や中止になった。1月に予定していた「この世界に残されて」から3月の「私は確信する」が中止、4月「サンドラの小さな家」は何とか見られたが、5月の「ジエントルメン」は休止。6月の「カムバック・トゥ・ハリウッド」以降は毎月鑑賞できたが「お酒の会」は開けず、10月からようやく「終わって一杯」を楽しめるようになった。

緊急事態宣言下では館内での飲食禁止、したがって「パリパリ・ポリポリ」の心配は無く、しかも両隣は空席、コロナ唯一の恩恵だった。

『静岡県 障害を理由とする差別を解消するための取り組みに関する知事褒章』

朗読グループ 鈴木 靖子(SBS)

私たち朗読グループが、このような賞の候補に上っていると知って、正直言つて驚きと戸惑いを覚えました。活動自体は20年以上続けてきましたが、そんな賞をいただくほど立派なことをしてきたつもりがないからです。

県の担当者からは、「視覚障害のある人のために、音訳CDを作成し県内の団体・施設に配布」「中学生に向けて、障がいのある人への配慮の仕方などについて講演活動に取り組み」、このふたつが受賞の理由です、ぜひ受けてくださいと言われ、相談した結果、ありがたくお受けすることになりました。

毎月1回のCD発行は、読み手・校正者・編集者がローテーションを組んでやっています。20年前と比べて、作業はずいぶん楽になりました。録音はパソコンで出来るようになり、録音したのも、今ではデータ便であつという間に届いてしまいます。その中で20年間変わらず続けているのは、チームワークです。言い換えれば、ひとつのものを協力して作り上

げているという一体感でしょうか。CD発行の後は、皆でお疲れさまのメールを交わし、次月もがんばろうねと声を掛け合っています。

現役時代にやつて来たことが、年を重ねても人様のお役に立てるとしたら、こんなにうれしいこととはありません。この褒章を励みに、これからも和気あいあいとやつていこうと話しています。

